

9 公設花き地方卸売市場事業特別会計

(1) 業務実績（審査資料 157～158頁参照）

取扱量は2,114万8千本・鉢(内訳は切花1,940万3千本、鉢物52万鉢、その他(苗物等)122万5千本)で、前年度に比べ28万3千本・鉢(1.3%)減少している。

取扱金額は13億6,922万9千円で、前年度に比べ448万7千円(0.3%)減少し、平均価格は64.75円/本・鉢で、前年度に比べ0.65円(1.0%)上昇している。

また、建設改良事業では、公設花き地方卸売市場外灯更新工事を実施している。

(2) 経営成績

ア 収益（審査資料 159頁参照）

経常収益は4,451万9千円で、前年度に比べ11万5千円(0.3%)増加している。この内訳を前年度と比べると、他会計補助金が14万8千円(0.9%)増加し、受取利息及び配当金が1万8千円(40.5%)、売上高割使用料が1万3千円(0.3%)それぞれ減少している。

イ 費用（審査資料 159～160頁参照）

経常費用は4,375万3千円で、前年度に比べ52万3千円(1.2%)減少している。この内訳を前年度と比べると、給料35万円(8.0%)、修繕費23万円(12.4%)がそれぞれ減少している。

ウ 損益（審査資料 159～160頁参照）

経常収支では76万6千円の経常利益であり、前年度に比べ63万8千円(498.4%)増加している。この結果、当年度純利益も同額の76万6千円となっている。なお、当年度未処分利益剰余金は4,161万3千円となっている。

エ 収益性の分析（審査資料 161頁参照）

事業活動の収益性を表す営業収益対営業費用比率は55.0%(前年度比0.7ポイント増)と理想比率(100%以上)を下回っている。しかしながら、一般会計補助金等の営業外収益や雑支出等の営業外費用を含めた総収益対総費用比率は101.7%(同比1.4ポイント増)と、理想比率(100%以上)を上回っている。

(3) 財政状態

ア 資産、負債及び資本

(7) 資産（審査資料 161～162頁参照）

資産は19億1,148万3千円で、前年度に比べ377万9千円(0.2%)減少している。この内訳を前年度と比べると、建物の減価償却等により固定資産が885万円(0.5%)減少し、現金・預金等の流動資産が507万1千円(1.8%)増加している。

(4) 負債及び資本（審査資料 161～162頁参照）

負債は5,511万4千円で、前年度に比べ454万5千円(7.6%)減少している。この内訳を前年度と比べると、固定負債(前年度比67万3千円、13.7%増)では、退職給付引当金が67万3千円(13.7%)増加し、流動負債(同比△134万円、11.9%減)では、主に未払金134万8千円(18.9%)が減少している。

また、繰延収益(同比△387万8千円、8.9%減)では、長期前受金が387万8千円(8.9%)減少している。

資本は18億5,636万9千円で、前年度に比べ76万6千円(0.0%)増加している。この内訳を前年度と比べると、当年度純利益の発生に伴う利益剰余金が76万6千円増加している。

イ 財政状態に関する経営指標 (審査資料 163頁参照)

流動比率(流動負債に対する流動資産の割合)は2,941.9%(同比395.5ポイント増)と理想比率(100%以上)を上回っている。

なお、地方公共団体財政健全化法施行令第16条に定める資金不足比率の算定に用いる資金の不足額は、流動負債(企業債等を除く)の額が流動資産の額を下回っているため生じていない。

(4) キャッシュ・フローの状況 (審査資料 163頁参照)

事業活動に伴う資金の増加又は減少を、業務活動、投資活動及び財務活動に区分して経営の実態をみると、業務活動では使用料や一般会計補助金等の収入額が経費の支払額を上回り841万4千円の資金を生み出している。一方、建設改良費支払による投資活動では、345万9千円を費消している。

この結果、本年度末の資金残高は2億8,449万4千円となり、前年度に比べ495万5千円(1.8%)増加している。

(5) 一般会計からの繰入状況 (審査資料 164頁参照)

一般会計からの繰入金は補助金であり、繰入額は1,686万3千円で前年度に比べ14万7千円(0.9%)増加している。この内訳は、収益的収入に係る繰入金で、業者の指導監督等に要する経費分の849万8千円(前年度比△36万5千円、4.1%減)と維持管理経費分の836万5千円(同比51万2千円、6.5%増)である。

(6) むすび (審査意見)

本市公設花き地方卸売市場事業は、昭和62年の市場開設以来、全国各地から花きを集荷し、県内のみならず近隣他県へも供給を行い、花き取引の適正化と流通の円滑化に重要な役割を果たしている。

しかしながら、近年のインターネット取引の普及等による市場外取引の増加、生産者の高齢化や後継者不足による生産量の減少など、市場を取り巻く環境は一段と厳しさが増しており、全国的に花きの取扱量は減少傾向が続いている。

本市場の業務実績においても、取扱量は平成10年度以降減少傾向にあり、前年度に比べ28万3千本・鉢の減少となっている。

収支状況については、他会計補助金等の収益が増加し、給料等の費用が減少した結果、当年度純利益は76万6千円となり、当年度未処分利益剰余金は4,161万3千円余となっている。

また、キャッシュ・フローの状況は、事業資金の源泉となる業務活動では順調に資金を確保しており、資金残高は前年度に引き続き増加している。

本事業においては、公設花き地方卸売市場中長期経営戦略に基づき、全国産地への出荷要請活動等に取り組み市場の活性化を図るとともに、無購買層・低購買層へのPRや次世代を担う子どもたちへの花育を推進し、花きの普及促進・消費拡大を図るよう努められた

い。また、民間市場との統合に向けた取組や、卸・仲卸業者の経営基盤強化にもより一層取り組まれ、市場機能を強化されたい。

加えて、今般の卸売市場法等の改正や「卸売市場の今後のあり方検討会」からの報告を踏まえ、今後の市場のあり方や役割等について検討を重ねられ、効率的かつ効果的な市場運営に万全を期されたい。

(審査資料)

1 業 務 状 況

(1) 市場関係業者数の推移

区 分	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
卸売業者	社	1	1	1	1	1
仲卸業者	社	2	2	2	2	2
売買参加者	人	274	275	277	279	280
関連事業者	人	1	1	1	1	1

(注) 数値は、各年度末のものである。

(2) 取扱量、取扱金額及び平均価格の推移

【取扱量】

区 分	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
切 花	千本	21,260	20,969	20,310	19,590	19,403
鉢 物	千鉢	631	631	577	527	520
その他(苗物等)	千本	1,584	1,455	1,323	1,314	1,225
合 計	千本・鉢	23,475	23,055	22,210	21,431	21,148

【取扱金額】

区 分	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
切 花	千円	1,109,072	1,121,179	1,112,479	1,052,434	1,044,778
鉢 物	千円	266,671	267,292	259,238	242,721	241,587
その他(苗物等)	千円	85,712	85,344	83,140	78,561	82,864
合 計	千円	1,461,455	1,473,815	1,454,857	1,373,716	1,369,229

【平均価格】

区 分	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
切 花	円/本	52.17	53.47	54.78	53.72	53.85
鉢 物	円/鉢	422.53	423.81	449.39	460.53	465.00
その他(苗物等)	円/本	54.12	58.66	62.81	59.80	67.64
合 計	円/本・鉢	62.26	63.93	65.50	64.10	64.75

ア 取扱量は、前年度に比べ28万3千本・鉢(1.3%)減少している。この内訳を区分別で見ると、切花が18万7千本(1.0%)、鉢物が7千鉢(1.3%)、その他(苗物等)が8万9千本(6.8%)それぞれ減少している。

イ 取扱金額は、前年度に比べ448万7千円(0.3%)減少している。この内訳を区分別で見ると、切花が765万6千円(0.7%)、鉢物が113万4千円(0.5%)がそれぞれ減少し、その他(苗物等)が430万3千円(5.5%)増加している。

ウ 平均価格は、前年度に比べ0.65円(1.0%)上昇している。この内訳を区分別で見ると、切花が1本当たり0.13円(0.2%)、鉢物が1本当たり4.47円(1.0%)、その他(苗物等)が1鉢当たり7.84円(13.1%)それぞれ上昇している。

2 予算執行状況

(1) 収益的収入及び支出

(単位：千円・%)

科目	予算額	決算額	翌年度繰越額	決算額の予算額 に対する増減 又は不用額	執行率
事業収益	47,160	46,419	-	△ 741	98.4
営業収益	26,023	25,651	-	△ 372	98.6
営業外収益	21,137	20,768	-	△ 369	98.3
事業費用	46,621	45,377	-	1,244	97.3
営業費用	45,194	44,550	-	644	98.6
営業外費用	927	827	-	100	89.2
予備費	500	0	-	500	0.0

(注) 予算額及び決算額には、消費税及び地方消費税を含む。

ア 収益的収入(事業収益)

決算額の予算額に対する減少は、主に次の項目の減少による。

売上高割使用料	△ 39万2千円
他会計補助金	△ 34万円

イ 収益的支出(事業費用)

不用額は、主に次の項目の金額である。

市場管理費(手当等)	△ 64万4千円
予備費	△ 50万円

(2) 資本的収入及び支出

(単位：千円・%)

科目	予算額	決算額	翌年度繰越額	決算額の予算額 に対する増減 又は不用額	執行率
資本的収入(A)	-	-	-	-	-
資本的支出(B)	4,400	3,736	-	664	84.9
建設改良費	4,400	3,736	-	664	84.9
差引(A)-(B)	△ 4,400	△ 3,736	-	-	-

(注) 予算額及び決算額には、消費税及び地方消費税を含む。

ア 資本的収入

予算額及び決算額ともに計上されていない。

イ 資本的支出

建設改良事業は、公設花き地方卸売市場外灯更新工事である。

ウ 収入不足額の補てん

資本的収入額が、資本的支出額に対し不足する額373万6千円は、次の項目の金額で補てんされている。

過年度分損益勘定留保資金	345万9千円
当年度分消費税等資本的収支調整額	27万7千円

3 経営成績

(1) 経営成績

(単位：千円・%)

科 目	30年度	29年度	増 減	
			金 額	比 率
経 常 収 益	44,519	44,404	115	0.3
営業収益	23,751	23,764	△ 13	△ 0.1
営業外収益	20,768	20,640	128	0.6
経 常 費 用	43,753	44,276	△ 523	△ 1.2
営業費用	43,227	43,795	△ 568	△ 1.3
営業外費用	526	481	45	9.4
経 常 利 益	766	128	638	498.4
当 年 度 純 利 益	766	128	638	498.4

ア 収 益

(ア) 営業収益の減少は、売上高割使用料1万3千円(0.3%)の減少による。

(イ) 営業外収益の増加は、主に次の項目の増減による。

 他会計補助金 14万8千円 (0.9%)
 受取利息及び配当金 △ 1万8千円 (△ 40.5%)

(ウ) 総収益の推移は、次のとおりである。

(単位：千円)

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
売上高割使用料	4,060	4,094	4,041	3,816	3,803
売場使用料	19,909	19,949	19,949	19,948	19,948
他会計補助金	17,178	16,690	16,827	16,716	16,863
長期前受金戻入	3,878	3,878	3,878	3,878	3,878
その他収入	114	121	46	46	27
総 収 益	45,139	44,732	44,741	44,404	44,519

イ 費 用

(ア) 営業費用の減少は、主に次の項目の減少による。

 給料 △ 35万円 (△ 8.0%)
 修繕費 △ 23万円 (△ 12.4%)

(イ) 営業外費用の増加は、雑支出4万5千円(9.4%)の増加による。

(ウ) 総費用の性質別経費の推移は、次のとおりである。

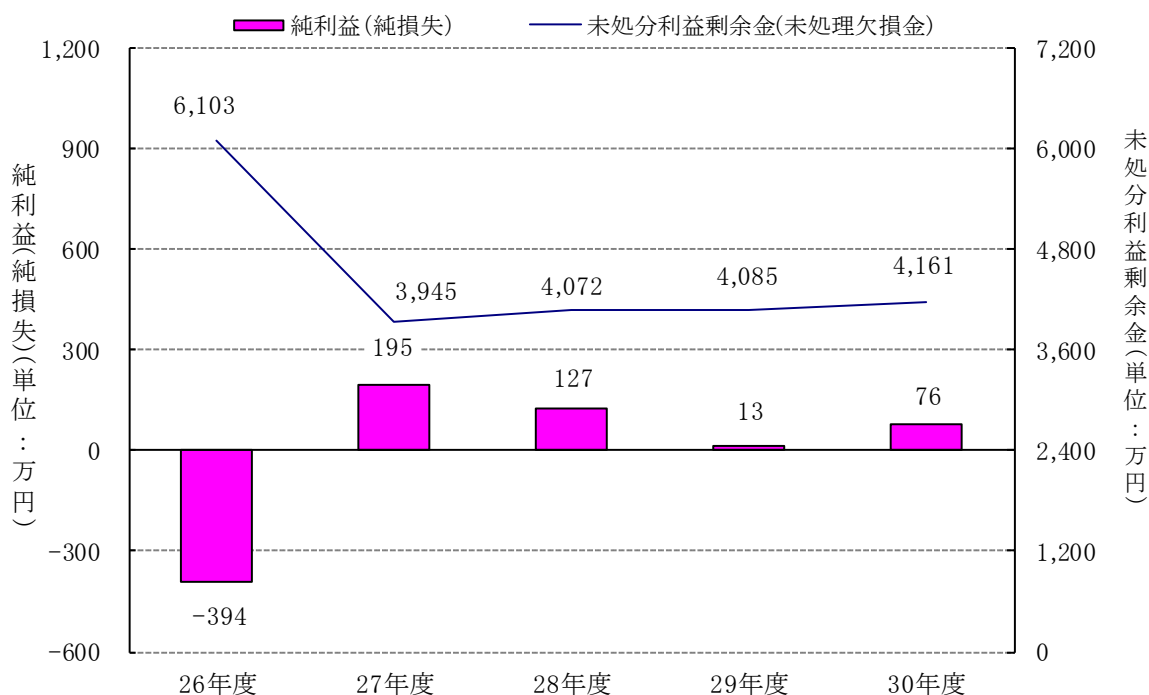
(単位：千円)

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
人 件 費 (退職給付費を除く)	10,959 (10,111)	10,601 (10,147)	11,005 (10,550)	11,499 (10,808)	11,114 (10,441)
減 価 償 却 費	12,388	12,108	12,108	12,108	12,309
委 託 料	12,608	12,706	13,294	12,005	13,048
そ の 他 費 用	8,565	7,360	7,064	8,664	7,282
特 別 損 失	4,563	-	-	-	-
総 費 用	49,083	42,775	43,471	44,276	43,753

(注) 平成26年度の特別損失は、会計基準の見直しに伴う過年度分退職給付引当金の引当不足額の一括計上等によるものである。

ウ 損 益

- (ア) 経常利益の増加は、他会計補助金等の営業外収益が増加したほか、給料等の営業費用が減少したことによる。
- (イ) 当年度純利益は、76万6千円である。
- (ウ) 当年度純利益(純損失)及び当年度未処分利益剰余金(未処理欠損金)の推移は、次のとおりである。



(注) 平成27年度の未処分利益剰余金は、会計基準の見直しに伴い平成26年度に発生した、その他未処分利益剰余金変動額2,353万円を資本金に組み入れ、当年度純利益を加えた額である。

- (イ) 流動資産の増加は、次の項目の増加による。
- | | |
|-------|----------------|
| 現金・預金 | 495万5千円 (1.8%) |
| 未収金 | 11万6千円 (3.2%) |

なお、未収金の内訳は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分	30年度	29年度	増 減	
			金 額	比 率
売上高割使用料	416	447	△ 31	△ 6.9
他会計補助金	3,363	3,216	147	4.6
未 収 金 合 計	3,779	3,663	116	3.2

(注) 未収金は年度末の数値であり、消費税及び地方消費税を含む。

イ 負 債

- (ア) 固定負債の増加は、退職給付引当金67万3千円(13.7%)の増加による。

なお、引当金の推移は、次のとおりである。

(単位：千円)

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
退職給付引当金	4,864	5,318	5,773	4,898	5,571

- (イ) 流動負債の減少は、主に未払金134万8千円(18.9%)の減少による。

- (ウ) 繰延収益の減少は、長期前受金387万8千円(8.9%)の減少による。

ウ 資 本

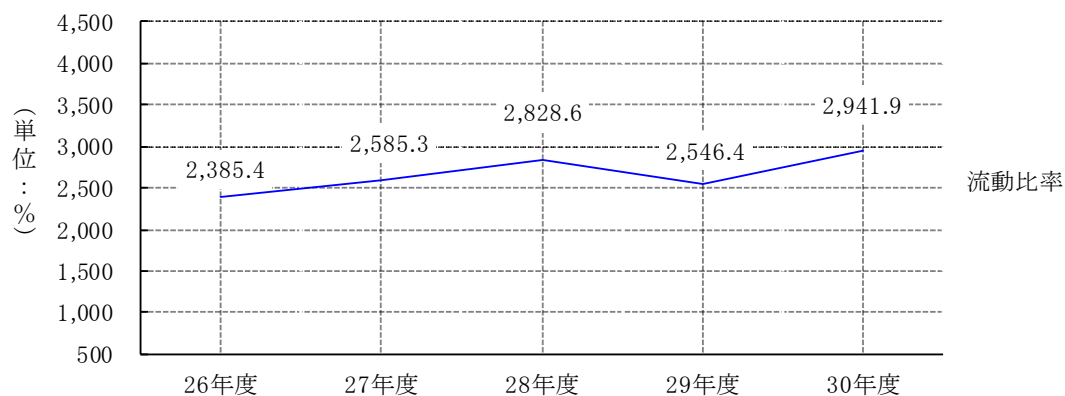
- (ア) 資本金の増減はない。

- (イ) 剰余金の増加は、利益剰余金76万6千円(1.9%)の増加による。

- (ウ) 利益剰余金の増加は、当年度未処分利益剰余金76万6千円(1.9%)の増加による。

- (エ) 当年度未処分利益剰余金は、前年度繰越利益剰余金4,084万7千円に当年度純利益76万6千円を加えた4,161万3千円となっている。

(2) 財務比率の推移



…………… (巻末付表 1 参照)

(注) 流動比率は、100%以上大きいほど良好である。

5 キャッシュ・フローの状況

(単位：千円)

項目	30年度	29年度	増減
1. 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益(△は純損失)	766	128	638
減価償却費	12,309	12,108	201
退職給付引当金の増減額(△は減少)	673	△ 874	1,547
賞与等引当金の増減額(△は減少)	31	114	△ 83
長期前受金戻入額	△ 3,878	△ 3,878	0
受取利息及び受取配当金	△ 27	△ 44	17
未収金の増減額(△は増加)	△ 116	145	△ 261
未払金の増減額(△は減少)	△ 1,348	1,194	△ 2,542
未払費用の増減額(△は減少)	△ 23	22	△ 45
小計	8,387	8,915	△ 528
利息及び配当金の受取額	27	44	△ 17
業務活動によるキャッシュ・フロー	8,414	8,959	△ 545
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,459	△ 2,945	△ 514
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	-	-	-
資金増減額(△は減少)	4,955	6,014	△ 1,059
資金期首残高	279,539	273,525	6,014
資金期末残高	284,494	279,539	4,955

6 一般会計からの繰入状況

(単位：千円・%)

区 分	30年度	29年度	増 減	
			金 額	比 率
収益的収入に係る繰入金	16,863	16,716	147	0.9
営業外収益	16,863	16,716	147	0.9
補助金	16,863	16,716	147	0.9
業者の指導監督等に要する経費(30%)	8,498	8,863	△ 365	△ 4.1
維持管理経費	8,365	7,853	512	6.5

7 資 料

業 務 実 績 表

項 目		単位	30年度	29年度	増 減
施 設	卸 売 場	m ²	1,446	1,446	0
	仲 卸 売 場	〃	293	293	0
	買 荷 保 管 ・ 積 込 所	〃	357	357	0
	業 者 事 務 所	〃	499	499	0
	関 連 事 業 者 店 舗	〃	98	98	0
	管 理 事 務 所	〃	100	100	0
	そ の 他 (通 路 ・ 階 段 等)	〃	558	558	0
	守 衛 室	〃	8	8	0
	苗 物 保 管 施 設	〃	351	351	0
	ご み 集 積 場	〃	16	16	0
	建 物 合 計	〃	3,726	3,726	0
	平 地 駐 車 場	〃	5,930	5,930	0
	計	〃	9,656	9,656	0
	業 務 量	切 花 取 扱 量	本/年	19,403,313	19,590,008
鉢 物 取 扱 量		鉢/年	519,547	527,047	△ 7,500
そ の 他 (苗 物 等) 取 扱 量		本/年	1,225,109	1,313,656	△ 88,547
計		本・鉢/年	21,147,969	21,430,711	△ 282,742
切 花 一 日 平 均 取 扱 量		本/日	94,191	96,029	△ 1,838
鉢 物 一 日 平 均 取 扱 量		鉢/日	10,391	10,541	△ 150
そ の 他 (苗 物 等) 一 日 平 均 取 扱 量		本/日	5,947	6,439	△ 492
職 員 数	主 事	人	3 (うち兼務 2)	3 (うち兼務 2)	0 (うち兼務 0)
	技 師	〃	2 (うち兼務 2)	2 (うち兼務 2)	0 (うち兼務 0)
	非 常 勤	〃	1	1	0
	計	〃	6 (うち兼務 4)	6 (うち兼務 4)	0

(注) 1 敷地所有面積は9,195m²である。

2 職員として、上記のほかに他会計支弁職員2人がいる。